

令和 2 年度

**我(和)がまちづくり
(いしかわ地域の魅力創造まちづくり事業)**

活動報告書

SDGs で金沢の「未来」を描き、
ファシリテーションを学ぶ。



NPO 法人ワークライフバランス北陸

1. 事業概要

- 概要 実施事業名「新しい世界の創り方。
～SDGs で変わる、ファシリテーションで変える。～」
 - (1) SDGs、ファシリテーションを学ぶ。
 - (2) SDGs de 地方創生というゲーム体験会を実施する。
 - (3) その後に、ファシリテーションのセミナーを実施する。
- 開催日 令和2年10月16日(金)～ 令和2年11月18日(水)
- 会場 オンライン(zoom) + オフライン(金沢学生のまち市民交流館)
- 主催 NPO法人 ワークライフバランス北陸
- 参加者 各回30名 計120名

2. 活動目的

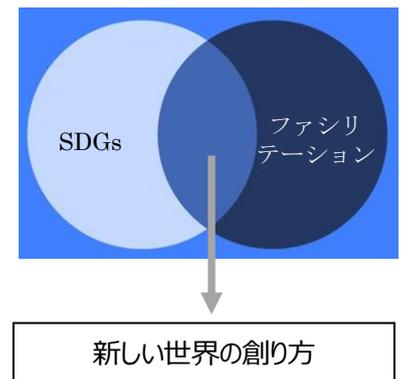
国の政策のひとつである SDGs の普及、理解を図る。

SDGs を学ぶことで、人とのつながり（パートナーシップ）

の大切さを理解することとなる。その一方で、

ファシリテーションは zoom などオンラインによる交流手段が普及し、今後より必要となる技術である。

SDGs を学ぶ過程で、ファシリテーションも同時に学び、参加者の今後の仕事や地域活動に活かしてもらうことを目的とする。



3. 開催記録

◆第1回 テーマ「みんなどうしてここに集まったの？」

概要：SDGs についてのイメージを持つ。参加者同士の関係を築く。

開催日：令和2年10月16日（金）

会場：オンライン（zoom）

参加者：一般30名

時間	内容
19:30	 <ul style="list-style-type: none">・初めて参加者同士が集まる。・関係を築くことを目的とした。・自己紹介。・自分の中のSDGsのイメージ。・上記をルームに分かれて交換。・次回の内容案内。 <p>Zoomの様子</p>
20:30	解散

◆第2回 テーマ「SDGs・ファシリテーションってなに？」

概要：SDGsの基礎知識、ファシリテーションの基礎知識を学ぶ。

開催日：令和2年10月24日（土）

会場：オンライン（zoom）

参加者：一般30名

時間	内容
10:00	 <ul style="list-style-type: none">・第1回の振り返り。・違うメンバーで自己紹介。・SDGsについてレクチャー。・カードゲームのレクチャー。・質疑応答。 <p>Zoomの様子</p>
11:00	解散

◆第3回 テーマ「SDGs カードゲーム体験と自分を知る／振り返りを通して
ファシリテーションを考える」

概要：SDGs カードゲームと対話／振り返り

開催日：令和2年10月31日（土）

会場：金沢学生のまち市民交流館

参加者：一般30名

時間	内容
13:00	<p>(1) SDGs をカードゲームで類似体験</p> <ul style="list-style-type: none"> ・SDGsの基礎知識 ・カードゲームの説明 ・カードゲーム実施 ・ゲームの振り返り ・振り返りの振り返り   <p>カードゲームの様子</p>   <p>(2) ファシリテーターによるカードゲーム体験の振り返り</p>   
17:00	イベント終了

◆第4回 テーマ「わたしの一步を聴いて！」

概要：これまでの3回を振り返り、各々のここからは始める第一歩を宣言する。

開催日：令和2年11月18日（水）

会場：オンライン（zoom）

参加者：一般30名

時間	内容
19:30	 <ul style="list-style-type: none">・ここまでの3回を振り返る・特に前回は考える・自分でできるSDGsについて・ここから始める第一歩・その他意見交換 <p>Zoomの風景</p>
20:30	解散

4. 事業の成果

- ・SDGsを自分ごととして、身近な所から活動しようという意識が芽生えた。
- ・SDGsもファシリテーションも目指すところは同じだと理解した。
- ・SDGsやファシリテーションを核として、新しい活動グループが生まれた。
- ・人とのつながり、対話などコミュニケーションの大切さを理解した。

<参加者の具体的な声>



- 種火 01 県外の学生が金沢を好きになって定住を希望。
- 種火 02 ある企業幹部社員が地域活動に興味を抱く。
- 種火 03 参加者同士が新しいグループを創った。
- 種火 04 滋賀県の参加者が琵琶湖を見直すと決意。
- 種火 05 ファシリテーションを活用し町会行事を実行。
- 種火 06 ある公務員が若い世代へアプローチを開始した。
- 種火 07 マチづくりは「ヒトの意識改革」だと改めて理解した。**

5. 参加者の声（感想・意見など）

- ・相手を尊重する、聞くこと、どんなに意見が違ってても、共通点を見つけることが大事。
- ・話したい、聞いて欲しい、聞きたいという気持ちとそのバランスが大切だと思った。
- ・理解して、理解されること。一緒に笑うこと、こころの余白・安心できる場があった。

6. 課題

- ・事業を通して、参加者の理解度や考えを聞いていると、SDGs についての理解度は浅く、普及していない。全員の目標として動きをおこすべき。
- ・zoom などで参加者からの話を聞いていると、感染対策について、その他個人主義の弊害か自分さえ、自社さえ良ければいい、というような志向や分断が進行している。今こそ、対話による協働が必要だと思う。

7. 今後の活動予定

- ・SDGs を 10 代～20 代前半の若者に普及させていきたい。
- ・ウェディングケーキモデルで表される、底辺の環境から考えていきたい。
- ・地域の活動にファシリテーションを浸透させるような活動に努力したい。



ウェディングケーキモデル（環境＋社会＋経済の3つのバランス）

8. おわりに

人が集うことが消極的な状況下で、4回の事業をやった。その中でオンラインの良さや、オフラインでしか味わえない臨場感など双方の特色を使えたと思う。

テーマについては、終わりはなく、「問い続けていくべきもの」として、今後も研鑽を続けていきたい。